

令和6年度

3 学年学習案内



伊勢市立小俣中学校

目 次

国語	・・・・・・・・・・	p 1 ～ 2
社会	・・・・・・・・・・	p 3 ～ 4
数学	・・・・・・・・・・	p 5 ～ 6
理科	・・・・・・・・・・	p 7 ～ 9
音楽	・・・・・・・・・・	p 10 ～ 11
美術	・・・・・・・・・・	p 12 ～ 14
保体	・・・・・・・・・・	p 15 ～ 16
技・家	・・・・・・・・・・	p 17 ～ 18
英語	・・・・・・・・・・	p 19 ～ 20
道徳	・・・・・・・・・・	p 21 ～ 22

この学習案内は中学校の1年間で学習する内容です。

国語科の学習

【教科の魅力】

「言葉の力」は、わたしたちの人間形成・社会形成のなかで重要な意味を持っています。

わたしたちは日常的に「言葉」で感じ「言葉」で考え「言葉」で伝えながら生活しています。

「言葉」をたくさん持ち、豊かに表現できる人は、自然に感性も豊かになっていきます。また、自分の考えや思いを適切な言葉で表現したり、相手と伝え合ったりすることができるのは、

とても嬉しいことです。

「言葉」の感性を磨き、素敵な日本語の使い手となって、相手のことを理解したり自分のことを伝えたりしながら、心と心がつながる喜びを感じてほしいです。

【国語科の学習を楽しむには】

○「国語科」はみなさんの発言で成り立つ教科です。

『授業はまちがえる場だ』をモットーに、発言が飛び交う活発な授業をつくりましょう。

○伝え、伝わる喜びを味わうために、すすんで表現(話したり書いたり)しましょう。

○与えられた学習課題に対して、意欲的に考え、取り組むようにしましょう。

個人で考えたことをペアやグループで発表し、意見を交流し、深め合いましょう。

○「いつ」「どこで」「だれに」を考えて、正しい日本語で伝え合いましょう。

正しい日本語が使えると、社会人として高く評価されます。

○どんなことでもよいので、何か一つ「得意なこと」をつくりましょう。

(例えば「美しい字が書ける」「ことわざに強い」「暗唱できる作品がある」など。)

得意なことがあると、自信が持て、やる気もわいてきます。

1 定期テストの勉強方法

○学校の定期テストは、自分の参考書(授業で使っている自分のノート)が頼りになります。そのためには毎日の授業で、集中して先生の話や仲間の意見を聞き、黒板に書いてあること以外にも大事なポイントや、気づいたこと・学んだことなどを工夫して書くとよいです。

○「漢字」は、テスト範囲のものを覚えるまで書く。見るだけでは、覚えにくいです。

○「慣用句・四字熟語・ことわざ」等は、学習プリントやワークブック、資料集などを見て覚えながら書きましょう。単語帳のようなものにまとめ直すのも効果的です。

○「文法」は練習問題をたくさんやり、わからない問題は先生に聞くなどして解決しましょう。

○テスト範囲の教材文は繰り返し読みましょう。文章中の言葉の意味や、接続語、指示語に注意しましょう。

○テスト範囲を教科書・ノートや学習プリント、ワークブック等で復習しながら、学習ポイントをふり返りましょう。

2 家庭学習のポイント

○教科書を何度も読みましょう。(声に出したり、黙読したりする。特にすらすら読めるようになるまで声に出して読む。)

○漢字小テストにあわせて漢字を何度も書いて、着実に覚えましょう。(漢字練習用ノートを作るとよい。)

○その日に学習したことを、ノートを見ながらふり返りましょう。

○学習している教材は、家で教科書やノート、プリント等で復習しましょう。

○国語の問題集(教科書以外の内容)を「1冊」やりきるのも効果的です。

○身の回りのことや社会的事象に意見を持ち、意識して文章に表したり発言したりしましょう。

○日常的に読書に親しみ、新聞のコラムや好きな記事を継続的に読む習慣をつけましょう。

Ⅱ 国語科の学習の評価について 学びを楽しもう

【国語】科では、このような方法で

みなさんの学習を評価しています。

教科の観点	具体的な生徒の表れ(例)
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。 ・古典特有のリズムを味わいながら古文や漢文を音読することができる。 ・古典に表れた物の見方や考え方に触れ、当時の人々の思いを想像することができる。 ・漢字や仮名など、字形を整え、大きさや配列、配置に気をつけて書くとともに、漢字に対して関心を持ち、漢字を書いたり読んだりする力を伸ばすことができる。 ・文法を正しく理解して、文節相互の関係や単語について理解を深め、段落の役割や文と文との接続関係、文の組立に役立てることができる。 ・慣用句・四字熟語・ことわざに関心を持ち、意味を理解して、自分の表現に役立てることができる。 ・文章の組立や展開、説明や描写などの表現のしかたや、文体などの文章の特徴に注意して読むことができ、さらに読み取ったことを自分の表現に役立てることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・できることをどう使うか)	・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・文章を読んで、人間・社会・自然などについて考え、さらに情報を集め、自分のものの見方や考え方を広げることができる。
主体的に学習に取り組む態度(粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する)	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えたかどうか見ます。 ・正しい発音・表記・表現に努め、常に「正しい日本語」を意識して話したり書いたり聞いたりしている。
【備考】 授業への取り組み、提出物や宿題、小テストや定期テストなどを、これらの観点で評価して成績をつけます。「話す」「聞く」「書く」「読む」の基礎となる「国語の特質に関する事項(言葉の特徴やきまり、漢字、書写)」の知識・理解・技能は高めておきたいものです。	

Ⅲ 年間指導計画

4	1 深まる学びへ
5	・世界はうつくしいと ・握手
6	・学びて時にこれを習ふ ・漢字1 熟語の読み方 ・漢字に親しもう1
7	2 視野を広げて
	・作られた「物語」を超えて ・説得力のある構成を考えよう ・漢字に親しもう2 ・文法への扉1
	3 言葉とともに
	・俳句の可能性
7	・俳句を味わう ・言葉を選ぼう
8	読書生活を豊かに
	・読書活動(羊と鋼の森)
9	4 状況の中で
	・挨拶—原爆の写真に寄せて ・故郷 ・言葉2 慣用句、諺、慣用句 ・漢字2 漢字の造語力
	5 自らの考えを
	・人工知能との未来
10	・人間と人工知能と創造性 ・多角的に分析して書こう ・音読を楽しもう 初恋
	6 いにしえの心を受け継ぐ
	・古今和歌集 仮名序 ・君待つと ・書写 毛筆
11	・夏草 ・古典名句
	7 価値を生み出す
	・誰かの代わりに
12	・情報を読み取って文章を書こう ・文法への扉2 ・漢字3 漢字のまとめ
1	・私を束ねないで
	8 未来へ向かって
	・温かいスープ
2	・私を束ねないで ・3年間の歩みを振り返ろう
3	・3年間の総復習

社会科の学習について

【教科の魅力】

私たちが生活する世の中を取り巻く日本や世界の様々な環境や生活習慣を「社会」といいます。「社会」には様々な事象が見られますが、それらを多面的に考察し公正に判断する力や国際社会の中で主体的に生きる資質や能力を身に付けるのが社会科の学習です。具体的には、様々な国や地域の人々の努力や工夫を調べたり、過去の歴史を振り返ったりしながら、「よりよい社会」「よりよい未来」を想定していきます。社会科の学習を通して、「よりよい社会」「よりよい未来」を創る上で必要な正しい判断力を養っていきましょう。

【社会科の学習を楽しむには】

- 積極的に自分の考えを表現しよう。仲間と意見交換をし、考えを広めることは「よりよい社会」「よりよい未来」を創る上で重要です。
- 様々な資料を使い、気付いたことや考えたことをプリントやノートにまとめましょう。
- 「なぜ…なの?」「…はどうなったの?」という疑問を大切にしましょう。
- 積極的にニュースや新聞に目を通して、社会科の学習と自分の生活とを関連付けてとらえる力を身に付けましょう。

学習の進め方

【使用教科書】

中学社会「歴史的分野」(日本文教出版)、新しい社会 公民(東京書籍)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・地理的分野、歴史的分野での学習内容と関連付けて学習し、自由・権利と責任と義務との関係を広い視野から正しく認識し、生活の向上と経済活動の関わり、現代社会の生活、国際関係について個人と社会との関わりを中心に理解を深めよう。
- ・様々な資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けよう。
- ・現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、考えたことを説明したり、議論する力を身に付けよう。
- ・歴史上の人物や、身近な地域の歴史上の人物に対して興味・関心を持ち、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて時代的背景と関連付けて考えよう。
- ・公民的分野では、習得した知識、概念や技能を活用して、社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えをまとめて書いたり、議論などをして考えを深めよう。

○家庭学習の例

- ・歴史的分野では、身近な地域の歴史を調べる活動で、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けよう。
- ・新聞やテレビの報道を見るなどして、日頃から社会の動きに関心を高めよう。

○定期テストへの取組の例

- ・まずはワークの学習範囲を、丁寧にやり込んでいこう。
- ・授業で学習したことを、教科書・ノート・資料集・タブレット端末等を活用して復習しよう。

Ⅱ 社会科の学習の評価について

学びを楽しもう

社会科では、こんな方法でみなさんの学習を評価しています！

教科の観点	具体的な生徒の表れ
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられたかどうかを見ます。 ・個人の尊厳と人権の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えたかどうかを見ます。 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えているかどうかを見ます。
主体的に 学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えたかどうかを見ます。 ・現代の社会的現象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしているかどうかを見ます。

Ⅲ 社会科の年間指導計画

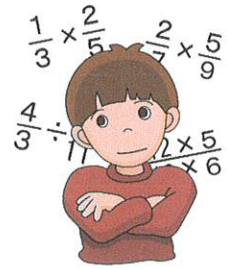
月		第3学年
4	歴史	第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化 6 近代日本の社会と文化
5		第2章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と戦後の世界 2 大正デモクラシーの時代
6		3 世界恐慌と中国との戦争 4 第二次世界大戦と日本
7		第6編 現代の日本と世界 1 平和と民主化への動き
8	公民	2 国際化する世界と日本 第1章 現代社会と私たち 1 節 現代社会の特色と私たち 2 節 私たちの生活と文化
9		3 節 現代社会の見方や考え方
10		第2章 個人の尊重と日本国憲法 1 節 人権と日本国憲法 2 節 人権と共生社会 3 節 これからの人権保障
11		第3章 現代の民主政治と社会 1 節 現代の民主政治 2 節 国の政治の仕組み
12		3 節 地方自治と私たち 第4章 私たちの暮らしと経済 1 節 消費生活と市場経済 2 節 生産と労働
1		3 節 市場経済の仕組みと金融 4 節 財政と国民の福祉 5 節 これからの経済と社会
2		第5章 地球社会と私たち 1 節 国際社会の仕組み 2 節 さまざまな国際問題 3 節 これからの地球社会と日本
3		三年間の復習(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)

I 数学科の学習の取り組みについて

数学科の学習

【教科の魅力】

数学は、さまざまな時代に研究され、人々の生活や科学の進歩に役立ってきました。私たちの身の回りにはいろいろな数量や図形があふれています。数学科では試行錯誤して法則を発見するおもしろさを味わうことができ、物事を豊かに考える態度を養うことができます。



【学習で大切なこと】

- 「なぜ、そうなるのだろう」と根拠をはっきりさせるようにしましょう。
- 学んだことを簡単にわかったつもりにならないで、とことん納得のいくまで考えてみましょう。追究の後に、驚きや発見があります。

1. 定期テストの勉強方法

- 授業で行った内容を教科書やノートで確認し、用語や計算方法の仕組みを再確認しましょう。
- 間違えた問題やわからなかった問題はわかるまで何度でもやり直しましょう。

2. 家庭学習のポイント

- 予習の仕方
 - ・教科書で次時の授業内容を調べ、疑問に思った部分をチェックしましょう。
- 復習の仕方
 - ・ノートを見直しましょう。
 - ※授業で行った例題を、問題だけ見てもう一度解きましょう。
 - ・学習した範囲の問題集を進めます。
 - ※その場ですぐに答え合わせをしましょう。
 - ※答えを写すだけでなく、なぜそうなるのか考えましょう。
- 発展的な学習の仕方
 - ・「答えが出たら終わり」にせず、どうしてそうなっているのだろう、どうしたらうまくいくだろう、とつねに追究しながら考えていきましょう。
- 問題集の活用
 - ・問題集を使って、基礎的な計算問題の定着を図りましょう。
- 計算問題
 - ・計算ミスをなくすには、途中の式を必ず書くようにするといいでしょう。
- タブレットの活用
 - ・ミライシードを使って学習内容を確認しましょう。

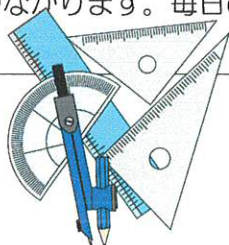
Ⅱ 数学科の学習の評価について

数学科では、このような方法で皆さんの学習を評価しています。

Ⅲ 数学科年間計画

しています。

		月	3年
教科の観点	具体的にどこを見るか		
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についているかを見ます。	4,5	式の展開と因数分解 ・式の展開と因数分解 ・式の計算の利用
		6	平方根 ・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用
		7	二次方程式 ・二次方程式 ・二次方程式の利用
思考力・判断力・表現力(理解していること・できることをどう使うか)	・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本の母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を見ます。	9	関数 ・関数とグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数
		10	図形と相似 ・図形と相似 ・平行線と線分の比
		11	図形と相似 ・相似な図形の計量 ・相似の利用
主体的に学習に取り組む態度(粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する)	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を見ます。	12	円の性質 ・円周角と中心角 ・円の性質の利用
		1	三平方の定理 ・直角三角形の3辺の関係 ・三平方の定理の利用
【備考】 ・以上のデータをもとにして、各観点を3段階で評価します。 ・テストだけで評価していないので、授業、提出物や宿題、問題集など一生懸命取り組みば、よい評価につながります。毎日の努力を大切にしましょう。		2	標本調査とデータの活用 ・標本調査
		3	3年生のまとめ



理科の学習の取り組みについて

I 理科の学習

【理科の楽しさ】

自然の事象には、人間が作り得ない不思議な現象がたくさんあります。その不思議な現象に疑問をもち、調べ、考え、疑問を解いていく、そして疑問が解けたときの喜びはとて大きくなります。また、その現象が私たちの暮らしとどう関わっているのかを知ることは、今後の私たちのさらなる豊かな暮らしにつながっています。

【理科の学習を楽しむには】

- ・ 自然現象に対して「どうなっているのだろう」と疑問をもち、調べ、観察・実験を行い探求していく。
- ・ 五感をフルにを使って観察・実験に取り組み、わかったことを自分で説明（書く、話す）してみる。
- ・ 「仮説（予想）」、「観察・実験」、「結果」、「考察」、「結論」という過程を通して解決しようとする。

1. 定期テストの勉強方法

- ・ 教科書、ノート、授業プリント、実験・観察プリントをよく読み返す。（何度も繰り返し行くとよい。）
- ・ 観察・実験（プリント）を見直し、「観察・実験」の目的、「方法」、「結果」、「考察」、「結論」を理解する。また、なぜ、そのような手法を行うのか、その操作の意味は何なのかをしっかりとおさえる。
- ・ 問題集をくり返し行う。（何度も繰り返し行くとよい。）
- ・ 問題集の答えを見てもわからないところは、必ず質問する。

2. 家庭学習のポイント

○予習のしかた

- ・ 学習課題の予想や観察・実験の方法を理解しておく。
- ・ 日頃から疑問や不思議・驚きをメモしておく。

○復習のしかた（復習は大事）

- ・ ノート、教科書を見直し、本時の授業を振り返ろう。「振り返り」は、感想ではなく、その授業のポイントや授業を通してわかったこと、理解したことを工夫してまとめるとともに、新たに調べてみたことや普段の生活の中で結び付く現象などと絡めて考えるとより一層理解が深まっていく。
- ・ 問題集を繰り返し何度も解く。答え合わせをしてわからないところは、必ず調べたり質問したりする。

○発展的な学習のしかた

- ・ 自然現象に対し、常に「どうなっているのだろう」と考える習慣を付けよう。

II 理科の学習の評価について

教科の観点	具体的な例
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いたかどうかを見ます。 ・ テスト(定期テストや小テストなど) ・ 実験観察の態度、技能 ・ レポートの構成の工夫 など
思考力・判断力・表現力 (理解していること・できる ことをどう使うか)	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養えたかどうかを見ます。 ・ テスト(定期テストや小テストなど) ・ 実験観察結果やまとめの考察 ・ レポートの考察内容 ・ 授業態度・発表 など
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	自然の事物、現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養えたかどうかを見ます。 ・ 授業態度、発表、忘れ物 ・ 授業の「振り返り」 ・ レポートやノート等の提出物 ・ 各種レポートにおける感想・考察 など

【備考】

- 授業以外に、日常生活の中で理科と関わりを持ったり、関わりを持ったものを見つけようとしたりする「探求する姿勢」が望ましいでしょう。
- 定期テストは6、9、11、1月に実施します。実力テストは年間5回実施予定です。

Ⅲ 学習内容について

学期	単元	評価の規準
4 月	2 年生の未履修単元 ○【地球】 地球の大気と天気の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	【知識・技能】 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、前線の通過と天気の変化、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 前線の通過と天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5 月	○【生命】 生命の連続性 ・生物のふえ方と成長 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	【知識・技能】 生物のふえ方と成長、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物のふえ方、生物の成長と細胞分裂、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 生物のふえ方と成長、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物のふえ方と成長、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物のふえ方と成長、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6 月		
7 月	○【物質】 化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸・アルカリと塩	【知識・技能】 化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子の成り立ちとイオン、金属イオン、化学変化と電池、酸・アルカリ、中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 水溶液とイオン、化学変化と電池、水溶液とイオンについて、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 水溶液とイオン、化学変化と電池に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
9 月		
10 月		
11 月	○【エネルギー】 運動とエネルギー ・力のつり合い ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり	【知識・技能】 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、仕事とエネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、運動の速さと向き、力と運動、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

	・エネルギー資源とその利用	【思考・判断・表現】 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、仕事とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、仕事とエネルギー、さまざまなエネルギーや資源に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
12月	○【地球】 宇宙を観る ・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	【知識・技能】 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽のようす、惑星と恒星、日周運動と自転、年周運動と公転、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 太陽のようす、惑星と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽のようす、惑星と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽のようす、惑星と恒星、天体の動きと地球の自転・公転、月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1月		
2月	○【環境】 自然と人間 ・自然界のつり合い ・さまざまな物質の利用と人間 ・科学技術と人間 ・人間と環境 ・持続可能な社会をめざして	【知識・技能】 日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合い、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 生物と環境について、生物どうしの関係や、微生物のはたらき、日常生活や社会で使われている物質について調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて科学的に探究している。また、科学技術の発展について、見通しをもって情報収集や資料調査などを行い、その結果を分析して解釈し、科学技術の発展の方向性について根拠にもとづいて予測しているなど、科学的に探究している。加えて、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害について、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる調査などを行い、自然環境の保全や自然と人間との関わり方について科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。さらに、自然環境の保全と科学技術の利用について、調査活動や討論などを行い、持続可能な社会の構築に向けて、科学的な根拠にもとづいて多面的・総合的に考察して判断し、行動しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物と環境、さまざまな物質、科学技術の発展、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

I 音楽科の学習の取り組みについて

音楽科の学習

【教科の魅力】

みなさんは、美しい音楽を聴いて胸が熱くなったり、思い切り歌った後に感動して涙が出そうになったりした経験はありませんか。音楽には、人の心を動かし感動を与える素晴らしい力があります。私たちは美しい音楽を聴いたり歌ったりすることを通して、心が磨かれ、豊かになっていきます。音楽を学ぶということは、豊かな心を育て、人間としての成長を手助けすることにつながるのです。

【学習で大切なこと】

- 恥ずかしがらずに堂々と表情豊かに表現しましょう。
- 楽譜などを参考にして、どのように表現するか主体的に考え、それについて言葉で表現してみましょう。
- その授業のめあてを意識しながら取り組み、振り返りをていねいに行いましょう。
- 鑑賞をすることが豊かな表現につながり、表現することが感性を磨いていきます。どちらも大切にしましょう。

1. 定期テストの勉強方法

- 教科書や楽譜を見直し、どのように表現したか思い出してみましょう。
- 鑑賞では、作曲者や楽曲について復習しましょう。

2. 家庭学習のポイント

- 予習・復習について
 - ・ 家庭学習は特に必要ありません。「もっとうまくなりたい」と思う人は、楽譜、教科書等を持ち帰り、家でも歌ってみるといいでしょう。
 - ・ 楽譜に出てくる速度標語、強弱記号などをチェックし、読み方や意味などを確認しておくのもいいでしょう。
- 生活の中の音楽
 - ・ 音楽を生活の中に取り入れ、明るく豊かな生活を送ることをめざしましょう。
- 発展的な学習の仕方
 - ・ どんなジャンルの音楽にも興味を持ち、鑑賞してみましょう。
 - ・ 演奏会など、本物の音楽に触れる機会を持ちましょう。

Ⅱ 音楽科の学習の評価について

音楽科では、このような3つの観点でみなさんの学習を評価しています。

評価の観点	具体的な生徒の現れ（例）
知識・技能 （何を理解しているか・何ができるか）	・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に着けたかを見ます。 （例）※定期テスト、ワークシート ※授業中の様子 ※実技テスト（音程・リズムを正確に演奏することができるか）
思考力・判断力・表現力 （理解していること・できることをどう使うか）	・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができるようになったかを見ます。 （例）※定期テスト、ワークシート ※授業中の様子 ※実技テスト（強弱、表情など表現豊かに演奏することができるか）
主体的に学習に取り組む態度 （粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する）	・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものしようとする態度を見ます。 （例）※自己評価表への取り組み ※授業中の様子（積極的に自分の考えや気づいたことなどを交流しているか） ※定期テスト、ワークシート

Ⅲ 年間指導計画

月	3年
4	・オリエンテーション
5	・「花」 ・鑑賞「ブルタバ」 ・「学年合唱曲」
6	・歌唱テスト「学年合唱曲①」 ・定期テスト①
7	・クラス合唱曲の選曲 ・合唱練習
8	・各クラス自由曲
9	パート練習、合唱練習
10	・合唱練習 ・文化祭発表
11	・鑑賞「展覧会の絵」 ・定期テスト③ ・歌唱テスト「学年合唱曲②」
12	・「ルールを守って音楽を楽しもう！」
1	・鑑賞「ポピュラー音楽」 ・「卒業生の歌」
2	・「卒業生の歌」
3	・「卒業生の歌」 ・3年間のまとめ



中学校 3年生 美術科 学習案内

1 目標

- ・対象や事柄を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習の進め方

【使用教科書】 光村図書 美術2・3

【上記以外】 絵の具セット、色鉛筆

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

○授業への取組

- ・材料や道具の基本的な用途を理解し、適切に使用しよう。
- ・学んだことをもとに発想や構想を工夫しよう。
- ・発想や構想をもとに作品として完成させ、自分なりに表現することに挑戦しよう。
- ・自他の作品のよさを理解しようと努力しよう。

○家庭学習の例

- ・必要に応じて、制作のための資料を積極的に収集しよう。
- ・長期休業中の絵画などの課題をしよう。

○定期テストへの取組の例

- ・資料を参考にして、スケッチやデッサンなど、描写技法の基礎技術を高めるトレーニングをしよう。
- ・資料を参考にして、美術の基礎知識や美術文化・美術史などの知識の充実を図ろう。

3 評価について

	観 点	評価の場面・方法
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	○形や色彩などによる表現の技能を身に付け、得た知識を用いて、意図に応じて創意工夫し美しく表現しようとしている。 ○材料や用具の特性などから制作の見通しをもって表現しようとしている。	○技能の知識・理解 ○作品の表現力 ○作品の完成度と美術の技能 ○定期テスト
思考・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう 使うか)	○対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことを基に主題を生み出すことができる。 ○主題などを基に豊かに発想し創造的な構想を工夫しようとしている。 ○美術作品の鑑賞活動を通して造形的なよさや美しさ、作者の心情と意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じとり、また美術文化に対する関心を高めることができる。 ○感じ取ったよさや美しさを文章に表すことによって対象の見方や感じ方を伝えることができる。	○アイデアスケッチ ○作品の発想、構想力 ○作品の知識・理解 ○鑑賞文による表現力
主体的に学習に 取り組む態度 (粘り強く努力する とともに自らの学習 を調整する)	○対象や主題について関心を持ち、美術の創作活動の喜びを味わい美術を愛好する心情と態度をもって意欲的に授業に取り組もうとしている。 ○学習した内容を進んで活用しようとしている。	○授業中の発言、発表の様子 ○作品作りに取り組む姿勢 ○鑑賞、課題の提出状況

4 学習内容について

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	評 価 観 点
1 学 期	4	○デッサンの基礎 模写 (鉛筆デッサン / シューズ)	【知識・技能】 ・材料の特性を理解して、対処物の形や明暗などを、正確に描写することができる。 【思考・判断力・表現力】 ・観察したことを、目的に応じて描き方や材料を工夫して描写することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鉛筆の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
	5	○絵文字の制作 (ポスターカラー)	【知識・技能】 ・文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解している。 ・ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもって表わしている。 【思考・判断・表現】 ・伝える相手や伝えたい内容をもとに主題を生み出し、美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
	6		
	7	○鑑賞 名画から学ぶ ・空想の世界へようこそ	【知識・技能】 ・形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた空想の世界を全体のイメージで捉えている。 【思考・判断力・表現力】 ・空想の世界を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に空想の世界を描いた作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	8	○思いを伝える (夏季休業中の課題) (ポスター)	【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に学習した描き方や材料の特性を工夫いかして、多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
2 学 期	9	○四季を愛でる心 模様のデザイン (ポスターカラー)	【知識・技能】 ・形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、あらわされた季節感を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表わしている。 【思考・判断・表現】 ・構成や装飾の目的や条件などをもとに、四季折々の素材などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に四季折々の素材などをもとに発想し、デザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。
	10		
	11		

	12	○鑑賞 名画から学ぶ ・北斎からゴッホへ	【知識・技能】 ・形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、日本の美術が西洋の美術に与えた影響や、日本や西洋の美術文化を全体のイメージで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、日本や西洋の美術作品について、よさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3 学 期	1	○鑑賞 名画から学ぶ ・ゲルニカ、明日への願い	【知識・技能】 ・形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、ピカソがゲルニカに託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ゲルニカや、その他のピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品がつくられた背景などをもとに、作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2	○デッサンの基礎 模写（鉛筆デッサン / 目）	【知識・技能】 ・材料の特性を理解して、対処物の形や明暗などを、正確に描写することができる。 【思考・判断力・表現力】 ・観察したことを、目的に応じて描き方や材料を工夫して描写することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鉛筆の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
	3		

I 保健体育科の学習の取組について

学びを楽しもう

保健体育科の学習

【教科の魅力】

生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現及び健康の保持増進の基礎を培う教科です。体育分野では、仲間と共に自ら進んで運動に取り組む中で、自己の体力を向上することができます。また、競争や試合などの経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する等の態度を養います。保健分野では、自分の体について知り、健康な生活をおくるために必要な技能や態度を身につけることができます。

【保健体育科の学習を楽しむには】

- どの種目も積極的に参加し、自分の力を発揮できるように努力しましょう。
- 自己の記録や能力に応じて、自分の課題に応じた練習を見つけ、周りの仲間とかかわりながら、技能の向上を目指しましょう。そして、達成感を体得しましょう。
- 全員で協力し、ルールやマナーを守り、お互いに認め合い、教え合い、励まし合いながら高め合う活動にしましょう。
- いつでも運動ができるように、自分の健康を管理しましょう。
- 自らの健康の保持増進を図るため、現在の自分の生活や行動を見つめ、考えていきましょう。

〈家庭学習のポイント〉

【発展的な学習の仕方】

- 健康の保持増進のために、自分の身体を理解し、食事や睡眠について関心を持ちましょう。
- 生活のリズムを整え、健康に気を配り、丈夫な身体を作りましょう。
- 新体力テストの結果から、自己の現状を把握し課題を見付け、補強運動などを継続的に取り組みましょう。
- 各種のスポーツに興味をもち、いろいろなTV中継などを見ましょう。

II 保健体育科の学習の評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けたかどうかを見ます。 ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・運動について自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養えたかどうかを見ます。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなど、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養えたかどうかを見ます。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養えたかどうかを見ます。



年間指導計画



	3 年
4 月 5 月	オリエンテーション・集団行動・ラジオ体操 体 つ く り 運 動（体ほぐしの運動を含む） 新体力テスト ダンス 保健（健康な生活と病気の予防）
6 月	ダンス 陸上競技（跳躍種目） 球技（バレーボール） 保健（健康な生活と病気の予防）
7 月	球技（バレーボール） 陸上競技（跳躍種目） 水泳の事故防止に関する心得
9 月	器械運動 球技（ソフトボール）
10 月	球技（ソフトボール） 器械運動 保健（健康と環境）
11 月	陸上競技（長距離走） 体育理論 保健（健康と環境）
12 月	球技（バスケットボール・サッカー） 保健（健康と環境）
1 月	球技（バスケットボール・サッカー） 保健（健康と環境）
2 月 3 月	球技（サッカー・ソフトテニス・卓球・バドミントン）

第3学年 技術・家庭科（技術分野） 学習案内

1. 目標

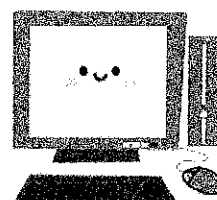
- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギーの変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 指導計画

月	「情報に関する技術」
4	○オリエンテーション
5	○情報の技術を探してみよう ○情報の学習を始めるにあたって
6	○コンピュータと情報通信ネットワーク ・コンピュータの仕組みを知ろう
7	・デジタル化について考えよう
8	・データ量について考えよう
9	・情報通信ネットワークの仕組みを知ろう
10	——— 実習 プログラミング ———
11	○プログラムの設計・製作
12	・計測・制御のプログラミングをしよう ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングをしよう
1	○コンピュータと情報通信ネットワーク ・情報セキュリティ技術を知ろう
2	・情報を安全に利用しよう ○情報に関する技術の評価、活用 ・情報に関する技術を未来に生かそう

＜授業で使用するもの＞

- 教科書（東京書籍）
- ワーク（正進社）
- プリント
- コンピュータ など



3. 評価

観点	主な具体的な内容
知識・技能 （何を理解しているか、 何ができるか）	- 学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。 - コンピュータを操作して、カレンダーを作成することができる。 - 実習では、必要な道具や工具を安全かつ適切に使用することができる。 - 実習では、集中して作業し、構想通りに完成させることができる。 - 実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力 （理解していること、 できることをどう使うか）	- 生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。 - 実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。
主体的に学習に 取り組む態度 （粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する）	- 始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。 - 授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。 - 授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。 - 提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。

第3学年 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

1. 目標

- ・ 家族・家庭生活についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家族の健康や社会、環境との関りについて理解しよう。
- ・ 家庭生活に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、家庭生活での知識や技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用しよう。
- ・ 進んで地域や家族と関わろうとするとともに、主体的に家庭生活に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に生活を工夫し創造しよう。

2. 指導計画

月	「家族・家庭と子供の成長」
4	授業についてのガイダンス
5	2 幼児の生活と遊び
	1 私の成長をたどる
6	2 幼児の体の発達
	3 幼児の心の発達
7	4 幼児の心身の発達と家族の役割
8	
9	5 子供の成長と地域
10	6 幼児の遊びと発達
11	7 幼児の遊びを支える
12	これからの私と家族 幼児のおもちゃを作ろう（実習）
1	
2	学習のまとめ
3	

3. 評価

観点	主な具体的な内容
知識・技能 (何を理解しているか、 何ができるか)	・ 学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。 ・ 実習では、集中して作業し、学習内容を生かした作品を完成させることができる。 ・ 実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、 できることをどう使うか)	・ 生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。 ・ 実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。
主体的に学習に 取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・ 始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。 ・ 授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。 ・ 授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。 ・ 提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。

第3学年 英語科 学習案内

1 英語の学習でめざすもの

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習のすすめかた

使用教材	・教科書：BLUE SKY 3 ・英語ノート3 ・JOYFUL WORKBOOK 3 ・語順トレーニング	持ち物	・教科書：BLUE SKY 3 ・英語ノート3 ・JOYFUL WORKBOOK 3 ・語順トレーニング ・ファイル
学習の進め方	学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう 【授業への取組】 ○ 1、2年生での学習を基にして、英語を聞く、話す、読む、書くことに関心をもち、ペアワーク・グループワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しよう。 ○ 学習した英語をよく聞いたり読んだりして、話し手や書き手の表現している内容を理解する力を身に付けよう。 ○ 学習した英語を使って話したり書いたりして、自分の考えなどを表現する力を身に付けよう。 ○ 英語の表現方法や言葉のルールを理解するとともに、外国語を使用する人々の文化を理解する力を身に付けよう。 【家庭学習の例】 ○ 予習として、次に習う新出単語の意味を調べよう。 ○ 復習として、習った教科書の本文や基本文を何度も声に出して読んだり書いたりして、内容を確認しよう。 ○ 宿題やワークに積極的に取り組み、授業の復習をしよう。 【定期テストへの取組の例】 ○ 教科書を繰り返し音読し、単語・基本文・本文を覚え、語彙を増やそう。 ○ 英語の表現方法や言葉のルールを復習し、ワーク・プリント・ノートを見直そう。		
学習上の注意	○ 大きな声で発音し、間違いを恐れずどんどん発表し、先生の話や他の人の発表を真剣に聞こう。 ○ 誰とでもペアワーク・グループワークができるように協力しあい、楽しい雰囲気での学習を進めよう。 ○ ALTに積極的に英語で話しかけよう。 ○ 予習復習では、1、2年生での学習を常に振り返りながら進めよう。 ○ 外国の歌や映画の他、スポーツや料理など外国の文化に興味を持とう。 ○ 自分に関わることを思い切って英語で表現しよう。		

3 評価について

観 点	
知識・技能 (何を理解しているか 何ができるか)	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおける活用できる技能が身に付いたかどうかを見ます。
思考力・判断力・表現力 (理解していること・ できることをどう使うか)	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養えたかどうかを見ます。
主体的に学習に取り組む態度 (粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する)	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養えたかどうかを見ます。
備 考	・以上のデータをもとにして、各観点を3段階ABCで評価します。 ・テストだけでは評価をしませんので、コミュニケーションに向かう姿勢、授業、提出物や宿題等に真摯に取り組めば、より良い評価につながります。日々の努力を大切にしてください。

4 年間指導計画と学習活動

月	Unit(単元)テーマ		項 目	学 習 内 容
4	Unit 1	Food Cultures さまざまな食文化	Part 1～3	①現在完了形（経験用法） ②現在完了形（経験用法）の疑問文 ③現在完了形（完了用法）
			Read & Think	Halal Food [説明文] 日本で広がりを見せるハラール・フード
			Express Yourself	好きな食べ物・苦手な食べ物を伝える
			More Information	世界の食事方法
	Let's Talk 1 食事			食べ物などをすすめる（Would you like ～?）
5	Unit 2	Living Side by Side 動物と共に生きる	Part 1～3	①現在完了形（継続用法） ②現在完了形（How long ～?） ③現在完了進行形
			Read & Think	Pathways for Wild Animals [説明文] 野生動物を守る通り道
			Express Yourself	動物や植物を育てた体験を発表する
			More Information	さまざまな動物の通り道
	Target のまとめ ①			現在完了形
6	Unit 3	Passing Down Memories 原爆について伝え続ける	Part 1～3	①間接疑問文（know where ～） ②間接疑問文（tell me who ～） ③疑問詞＋to＋動詞の原形
			Read & Think	Never Forget the Day [説明文] 原爆の記憶を語り継ぐ
			Express Yourself	被爆体験者の話を聞いた感想を発表する
			More Information	佐々木禎子さんと原爆の子の像
	Let's Talk 2 体調			症状を説明する（have a sore throat）
7	Let's Listen 1 機内放送			到着時刻や天候などを聞き取る／文の区切り
	Project 1 有名人にインタビューしよう			有名人や歴史上の人物へのインタビュー原稿を書いて発表する
	9	Unit 4	Society for All みんなにやさしい社会	Part 1～3
Read & Think				Braille Blocks Story [説明文] 点字ブロックを開発した日本人
Express Yourself				すべての人にとって使いやすい道具・設備を紹介する
More Information				ユニバーサルデザイン
Target のまとめ ②			間接疑問文／疑問詞＋不定詞	
Target のまとめ ③			さまざまな文の形	
Let's Talk 4 電話			電話で、伝言を頼んだりする（Could you please ～?）	
10	Unit 5	What Can Photos Tell? 写真で見る人物・出来事	Part 1～3	①関係代名詞 who（主格） ②関係代名詞 that [which]（主格） ③関係代名詞 that [which]（目的格）
			Read & Think	Historical Events in Photos [説明文] 写真で見る歴史的な出来事
			Express Yourself	自分の好きな有名人を紹介する
			More Information	写真がとらえた歴史
	Let's Talk 5 どうだった？			感想をたずねる（How was ～?）
11	Unit 6	Lively Towns in Japan 地域の活性化	Part 1～3	①名詞を後ろから修飾する分詞 ②仮定法（if ～） ③仮定法（I wish ～）
			Read & Think	Happa Business [説明文] 町を活性化させた「葉っぱビジネス」
			Express Yourself	自分の住む町 [県・市・村] の名所・名物を紹介する
			More Information	地方創生の取り組み
	Target のまとめ ④			関係代名詞／分詞による修飾
Target のまとめ ⑤			仮定法	
12	Let's Talk 6 道案内 2			目的地までの所要時間や料金などをたずねる（How long does it take to ～?／How much is the fare ～?）
	Let's Listen 2 ツアーガイドの案内			年号などの情報を聞き取る／強勢
	Project 2 日本の伝統行事を紹介しよう			ウェブサイトのにのせる日本の伝統行事の紹介文を書いて発表する
1	Further Study ① ディスカッションをしよう			制服は必要かどうかについて、自分の立場を決めて意見交換する
	Further Study ② 中学校生活の思い出を書こう			中学校生活の思い出を、エピソードや感想を交えて書く
2	Let's Read 1			The Last Leaf [物語] 命を救った最後の一葉
	Let's Read 2			Origami Ambassador [ノンフィクション] 折り紙で世界を結んだ日本人

I 道徳科の学習の取り組みについて

1. 道徳科の目標（3年生）

- ① 最上級生としての自覚を持たせ、自ら考え、行動できる態度を育てる。
- ② 物事を客観的に判断し、他に学び、周りに感謝する謙虚な心を育てる。
- ③ 集団や社会の中で互いを助け合い、最後までやり抜くたくましい心を育てる。

2. 主に学習すること

道徳の時間に指導したい内容を次の4つの視点から分類し、「心を磨き」ます。

- ① 自分自身をみつめる
 - ・心も体も元気でいましょう。・より高い目標を目指してやり抜く強い心をもちましょう。
 - ・自分で考え判断して行動しましょう。・理想をもって前向きに過ごしましょう。
- ② 他の人との関わり
 - ・時と場に応じた言動をとれるようにしましょう。・周りの人への温かい思いやりの心をもちましょう。・友という宝をもちましょう。・認め合い学びあう心をもちましょう。
- ③ 生命や自然との関わり
 - ・それぞれたった一つの自他の生命を大切にしましょう。・自然のすばらしさに感動できる心をもちましょう。・人には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを知りましょう。
- ④ 集団や社会との関わり
 - ・法律やきまりを守ることの大切さを知ろう。・正義を信じ、不正を許さない心をもちましょう。・自分の役割や責任を自覚して、社会の力になりましょう。・家族の一員であることを意識しましょう。・自分の学校や仲間に誇りをもって、さらによくしていきましょう。・国を愛して、この国に生きる気概（困難にくじけない強い意志）をもちましょう。・ひとりの人間として世界に目を向け、平和や幸せを考えられるようになりましょう。

3. 教科の学習方法

- ① 読み物教材の登場人物へのかかわりが中心になる学習
登場人物の判断や心情を、自分の生活と重ね合わせて多面的に考えることなどを通して、理解を深めましょう。
- ② 問題解決的な学習
問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を考え、生きていく上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養いましょう。
- ③ 道徳行為に関する体験的な学習
役割演技などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養いましょう。

II 道徳科の学習の評価について

（観点）①一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させている。

②道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている。

（資料）・授業中の発言等の様子・ワークシート、ポートフォリオ・自己評価（ふりかえり表）

（評価）上記の観点について、個人の成長を励ます個人内評価を、記述式で行う。

Ⅲ学習計画

月	回	内容・教材名	内容項目
4	1	道徳の授業を始めよう！	
	2	礼儀正しさとは	B7 礼儀 A2 節度、節制
	3	背番号10	B6 思いやり、感謝 B8 友情、信頼
5	4	二通の手紙	C10 遵法精神、公德心 C12 社会参画、公共の精神
	5	あの日生まれた命	D19 生命の尊さ C14 家族愛、家庭生活の充実
	6	三年目の「ごめんね」	A1 自主、自律、自由と責任 C15 よりよい学校生活、集団生活の充実
	7	小さな出来事	C11 公正、公平、社会主義 D22 よりよく生きる喜び
6	8	「リクエスト食」を支える	B13 勤労 D19 生命の尊さ
	7	小さな出来事	C11 公正、公平、社会主義 D22 よりよく生きる喜び
	9	サグラダ・ファミリア ー受け継がれていく思い	D21 感動、畏敬の念 A4 希望と勇気、克己と強い意志
	10	鉄腕アトムをつくりたい ー人工知能研究は人間探求	A5 真理の探究、創造 A4 希望と勇気、克己と強い意志
7	11	がんばれ おまえ	A3 向上心、個性の伸長 D22 よりよく生きる喜び
	12	私がピンク色のキャップをかぶるわけ	B8 友情、信頼 B6 思いやり、感謝
	13	ソーシャル・ビュー ー見えない人と楽しむ美術鑑賞	B9 相互理解、寛容 C11 公正、公平、社会主義
	14	命の選択	D19 命の尊さ C10 遵法精神、公德心
9	15	一票を投じることの意味	C12 社会参画、公共の精神 A1 自主、自律、自由と責任
	16	闇の中の炎	C10 遵法精神、公德心 A1 自主、自律、自由と責任
	17	ぼくの物語 あなたの物語	C11 公正、公平、社会主義 B9 相互理解、寛容
10	18	私の再出発	A4 希望と勇気、克己と強い意志 D22 よりよく生きる喜び
	19	足袋の季節	D22 よりよく生きる喜び B6 思いやり、感謝
	20	障子あかり	C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 D21 感動、畏敬の念
	21	家族って？家庭って？	C14 家族愛、家庭生活の充実 D19 生命の尊さ
11	22	海とストロー	D20 自然愛護 B9 相互理解、寛容
	23	好いとっちゃん、博多	C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 A3 向上心、個性の伸長
	24	希望の義足	C18 国際理解、国際貢献 C12 社会参画、公共の精神
	25	『落葉』——菱田春草	A4 希望と勇気、克己と強い意志、D17 我が国の伝統と文化
12		人権フォーラムの還流報告	B8 友情、信頼
	26	小さいこと	A2 節度、節制 B7 礼儀
	27	恩讐の彼方に	B9 相互理解、寛容 D22 よりよく生きる喜び
1	28	巣立ちの歌が聞こえる	C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 B6 思いやり、感謝
	29	先人の言葉——『論語』	A3 向上心、個性の伸長 A1 自主、自律、自由と責任
2	30	命と向き合う	D19 生命の尊さ D21 感動、畏敬の念
3	31	道徳の学びを振り返ろう	